

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	KOMORO AGRI SHIFTプロジェクト
事業主体 (連絡先)	小諸市 (小諸市相生町3-3-3 電話0267-22-1700 担当:農林課 原田)
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり、(6) ア 特色ある観光づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,831,000円 (うち支援金: 3,620,000円)

事業内容

- (1) 「土壌の健康診断(土壌の生物性分析)」を100検体実施。
- (2) KOMORO AGRI CAFÉに専門家を招聘し、土壌の健康診断結果をもとに土づくりの勉強会を開催した。
- (3) 「Agriculture meeting」と題してシンポジウムを開催。



【シンポジウム開催】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①土壌の健康診断実施者の増加

100検体の健康診断を実施し、自分の圃場の健康状況の立ち位置を把握することができ、今後の土づくりの一步を踏み出すことができた。

結果 H29 20ほ場 → H30 100ほ場

②小諸基準の策定

計画では策定であったが、農家との意見交換が不十分と判断し、策定・公表までに至らなかった。引き続き、小諸基準の策定について取組みます。

③シンポジウム参加者

参加者 50名。多くの参加者から KOMORO AGRI SHIFT プロジェクトの取組みに賛同いただき、取組みの輪が広がっていくことを実感した。

【目標・ねらい】

- ①土の健康診断実施者の増加
- ②小諸基準の策定

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度の取組みでは、土づくりにおける生物性の大切さを学び、農家自身が今後の取組みに生かせるようになった(農家のジブンゴト化)と感じます。

今後、元気な土から生まれた農産物を消費者へつなげるため、首都圏等でのイベントへ出店し、農産物のPRを行い、販路拡大に努めたい。

また、消費者PRの手段の一つとして、レシピ開発も進めて行きたい。

※自己評価【C】

【理由】

「土壌の健康診断」の実施、専門家の招聘、シンポジウムの開催により、多くの農家が土づくりへの大切さを学び、自分の圃場の健康状況を知り、今後の取組みに生かせることになった。しかし、当初計画していた「小諸基準」の策定には農家の理解・協力なしでは困難であり、農家との意見交換が不十分と判断し、策定・公表までに至らなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある